姉妹都市提携５周年を記念し議員らがソサン市を訪問

田子町
議会だより

2018

第94号

平成３０年１月２４日発行
青森県田子町議会

目　　次

一般質問に４議員登壇 ……… 3
５周年を記念し姉妹都市訪問 … 8
トンネル建設に向け活動 …… 10
議長から新年のあいさつ …… 12

第4回定例会

定例会のあらまし

平成29年第4回定例会は12月7日から12日までの6日間の会期で開催されました。

本会議初日には、専決処分の報告や補正予算案など5件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。

12日の一般質問では4人の議員が登壇しました。町政全般に対して質問をし活発な議論が交わされました。

13日には議案審議があり、初日に町長が提案し説明のあった議案について厳正な審議が行われました。

審議結果

報告1件と、補正予算や条例改正など4件の議案が提出され、議長を除く9名の議員が審議しました。結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報　告 第8号	**専決処分した事件の承認について** **（平成２９年度田子町一般会計補正予算（第４号）について）** 平成２９年１０月２２日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る事業費の補正をしたもの	可決 （賛9・否0）
議　案 第６４号	**田子町奨学資金貸付条例の一部改正について** 町奨学金制度の貸付金額の増額、給付型の導入及び償還期間の延長等を実施するもの	可決 （賛9・否0）
議　案 第６５号	**平成２９年度田子町一般会計補正予算（第５号）について**	可決 （賛８・否１）
議　案 第６６号	**平成２９年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第３号）について**	可決 （賛9・否0）
議　案 第６７号	**平成２９年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第３号）について**	可決 （賛9・否0）

主な補正予算

一般会計　歳入

●国庫支出金
現年発生公共土木施設災害復旧費負担金
８９７万６千円
平成29年に発生した公共土木施設の災害復旧費に係る負担金。

●財産収入
立木売払代金
２３１８万６千円
国有林の分収造林契約に基づく分収木の売買に伴う立木売払代金。

一般会計　歳出

●農林水産業費
分収林等交付金
１７２３万円
国有林の分収造林契約に基づく分収木の売買に伴う交付金。

●災害復旧費
災害復旧工事
２１９０万円
道路災害の災害復旧工事の費用。

意見書

○件名
「道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書案」

○意見書の趣旨
道路整備に必要な予算の拡充を図り、道路財特法の規定に基づく補助率のかさ上げ措置について、継続を強く求めることから、意見書を関係行政庁へ提出するもの

○審査結果
可決

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。12月定例会では議員4人が一般質問を行いました。

宇藤大介 議員

町の奨学資金制度

【質問1】今回の制度改正の具体的な内容、今後予測される借入者の動向、子ども達の進学率及び学力向上に向けた展望、返済時の特約、その財源確保についての明確な見解を求める。

【町長答弁】高校及び高専の三年生までの貸付金を月額1万円から2万円と増額し、田子高校生は1万5千円を3万円に増額。専門学校、短大、大学入学者は月額3万円から5万円へ。また入学準備金を新設し、1万円かける就学月数分を入学前に貸与する。さらに、償還の期間も最大10年から15年へ延ばし、償還の際に国公立大学進学、卒業者、田子高校を卒業し、上級の学校へ進学した者に対して貸付額の2割を免除することとした。財源に関しては、国による教育に係る予算の拡充や低所得層への対策を勘案し、当面は一般会計から繰入での対応としたい。借入者の動向は増えるのも予想され、学力の向上のため頑張る子どもが増えること、進学率が向上することを強く願うところである。

【質問2】子どもは町外へ通学していても、保護者は概ね町の就労者であり納税者である。医療費助成も含め支援を拡充できないか。

【町長答弁】当町としては「田子高校を存続させる」という至上命題への取り組みを強化しているところである。今後の推移を見守りながら対応してまいりたい。

ゴミの減量化

【質問】先頃、環境整備事務組合の視察においてバイオマスエネルギーによる生ゴミ、食品残渣を処理する施設を見学してきた。町を挙げてのゴミ対策、特に生ゴミ、食品残渣減量への取り組みに着手すべきと考えるが、町長の所感は。

【町長答弁】三戸町クリーンセンターで行った焼却ごみの分析調査によると、平均して16%（6分の1）が生ゴミや食品残渣の「厨芥類」となっている。生ゴミや食品残渣の減量がゴミ減量化の大きな一つの方法と捉えており、町民皆様には日常の中で気に留めていただきながら、取り組みを強化して欲しいと望む。

環境整備事務組合の視察の様子

駐車場の整備

【質問1】トレーニングセンター付近の駐車場の整備・拡張が必須だと考えるが、町長の見解は。

【町長答弁】大きな催事等への対応に苦慮している実情は確かにある。主催者が教育委員会と協議し、駐車場を分散しての運営の周知徹底を図って参りたい。

【質問2】バイパスを挟んだ土地等での造成は考えられないか。

【町長答弁】水田の高度利用は検討の余地はある。農振地の見直しを図るという観点からも検討課題として参りたい。

欠端則夫 議員

町内の除雪

【質問1】
橋梁の調査を行っているようだが、結果はどうなったのか。

【町長答弁】
町管理の橋梁は町道橋が85橋、林道橋が6橋。点検結果は区分Ⅰ～Ⅳの4段階に分類され、区分Ⅲは早期措置段階、区分Ⅳは緊急措置段階。現在は区分Ⅲが15橋、区分Ⅳが1橋ある。この区分Ⅳの1橋は宮野獅々内線1号橋で架け替え事業に着手している。

【質問2】
橋梁や道路が不通になった時の対策はできているか。

【町長答弁】
災害時の応急対策業務協定を田子町建設業協会と締結し、応援をいただける。孤立集落が生じる場合には、知事に自衛隊の災害派遣や県防災ヘリコプターの派遣を要請し、救援物資や人員等の搬送を行っていただく。さらに、東日本大震災などの災害を教訓に、防災対策を策定している。

【質問3】
道路の草刈りをできなくなった地区等に代わって町でやれないか。（美しい町と言うが国道の草刈りがなされていない）

【町長答弁】
高齢化が進み、「草刈りも大変になってきた」という話も聞くが、今のところ各集落で行っていただいている。今後、地域の皆様と相談し取り組んで参りたい。
また、国県道の草刈りは県が年に1回程度実施している。

【質問4】
降雪後の1軒家等の除雪もよく考えてほしい。

【町長答弁】
普段は地域での集落内除雪や自力での対応をお願いしているが、大雪の際には道路の除雪が優先されるため、遅くなってしまう事情をご理解いただきたい。

早期措置段階の区分Ⅲに分類される向山橋

ふるさと納税

【質問1】
業務を業者に依頼したが経費等を除いて額は増えたか。

【町長答弁】
平成27年度まではふるさと納税の事務全般を町で行っていたが、平成28年度からは業務の一部を委託で対応している。27年度と28年度を対比すると135万8千円の増となる。

【質問2】
返礼品の上限割合が決められたが当町の人気はどうか。

【町長答弁】
総務省より返礼品の調達割合の上限を3割とする通知を受け8月からリニューアルを行った。10月末現在、対前年度比で寄付件数は59件の増、金額は114万5千円の減となっている。

【質問3】
品数は増やしているか。また、不人気の品は減らしているか。

【町長答弁】
28年度の返礼品は37品目、29年度は8月のリニューアル時点で51品目。主に牛肉や加工品を中心に14品目の増となっている。

【質問4】
他町での品で当町でもできそうなものはあるか。

【町長答弁】
南部町や三戸町においても果物を希望される寄付者の方々が年々増えている。当町においても果物を掲載しているが、すぐに品切れとなる。今後、調査を重ね、ふるさと納税を推進して参りたい。

沢口博二　議員

アンテナショップ

【質問1】商工会の事業に何故、町が今回、1千万円の支出をしなければならないのか。

【町長答弁】全国商工会連合の実施主体は、商工会のみであり、地方創生交付金の活用により協議会を設立し、町が補助をしているためである。

【質問2】アンテナショップ展開による具体的な成果を示してもらいたい。

【町長答弁】汐留にショップをオープンしたこと、町内農業者、事業者の意識の高揚が図られたことと認識している。

【質問3】今までの町単体の支出額、内訳を明らかにしてもらいたい。

【町長答弁】今まで、総額で約1200万円の支出となっている。

【質問4】出品者の売り上げ、期間、品目を明らかにしてもらいたい。

【町長答弁】売上総計は約1370万円。品目はにんにく、トマト、きゅうり、枝豆、黒にんにく等。

【質問5】汐留から新店舗移転、新委託先、事業計画の変更につき、内閣府への変更計画書は提出したのか。

【町長答弁】県担当課では事業費の変更は不要とのこと。事業内容は詳細を明確にしておくよう回答をいただいている。

【質問6】不動産会社と賃貸契約上でもめたということだが、問題は何か。

【町長答弁】不動産会社と新しく業務委託契約を結んだが、我々の要望とは異なるため、退去することとなった。

【質問7】新体制の事業計画書を出してもらいたい。

【町長答弁】特に作成していない。

【質問8】物品（野菜）の供給体制はできているか。

【町長答弁】調整を図り、計画を立てて参る。

【質問9】厚沢部町との共同事業はどうするのか。その成果はあったのか。

【町長答弁】継続の方向で検討している。

【質問10】町長自身の責任はどうとるつもりか。

【町長答弁】生産者の人材育成、意識改革をし、地域活性化を図ることで責任を果たしたい。

新田の水源地

【質問1】その目的、総事業費、期間は。

【町長答弁】遠瀬と新田の水系を統一することにより、将来の更新、水質保全、維持管理費を削減できる。事業費は4億3500万円。期間は29年から35年まで。

【質問2】土工関係を町事業者でできなかったのか。

【町長答弁】できる限り、町内業者を下請けに選定してもらっているが、他工事の受注状況等により、町外に頼んでいる場合もあるようだ。

【質問3】新田の水車と水路を補修して、水車発電によるライトアップ等をして観光資源として活用できないか。

【町長答弁】水路は農業用水路のため町で整備できるが、水車自体は町保有ではなく、町直接の補修はできない。水車発電によるライトアップは承っておく。

新田地区にある水車小屋

尾形憲男　議員

ゴミの減量化に向けた施策

【質問1】 ごみ処理費はいくらかかっているか。

【町長答弁】 三戸地区環境整備事務組合から提供された「平成28年度ごみ処理施設維持管理費」の資料によると1トン当たり2万1020円。

【質問2】 処分場の今後の動向は。

【町長答弁】 町内釜渕平にある「三戸地区不燃物埋立最終処分場」の動向は、平成44年頃まで埋立が可能と見込まれる。処分場の延命化を図るため、ゴミの減量や焼却灰のリサイクルをさらに進めていくことが必要。

【質問3】 焼却施設について今後の動向は。

【町長答弁】 平成29年度からの「整備5箇年計画」に基づき、施設の大規模改修を順次実施、10年間の施設の延命を図る。

【質問4】 今後の課題は。

【町長答弁】 一人当たりの排出量は少し増えており、一般家庭ごみの分別収集や資源化の取り組みに住民挙げて努力していかなければならない。ごみを資源化する分別の取り組みを推進する。

子どもの教育について

【質問1】 幼稚園・保育園の関係と今後について。

【町長答弁】 幼稚園・保育園での連携、教育委員会と関係課との協議・情報共有を進め、入園児のバランスに配慮していきたい。幼稚園は存続が基本、老朽化した建物について場所等も含め検討する。

【質問2】 小学校の放課後の在り方について。

【町長答弁】 地域で子ども達の成長を見守る仕組みとしてスポーツ少年団活動を支援し、人間形成や体力づくりの一助としたい。

【質問3】 学童保育に行っていない児童の居場所として図書館を開放できないか。

【町長答弁】 その体制が整うかを検討しないといけない。

【質問4】 中学校の学習環境の充実について。

【教育長答弁】 施設や教材備品の整備の他、次の事業で環境の充実を図る。

①中高一貫教育による相互乗り入れ授業により学力向上に努める。

②グローバル人材の育成として英語は外国語指導助手（ALT）を招き英語の「聴く・話す」能力の向上と中学生海外派遣事業によりギルロイ市へ派遣。

③スポーツ活動支援として大会の旅費等を補助、保護者の負担軽減。

【質問5】 高等教育に向けた取り組みについて。

【教育長答弁】 全国の大学・短大、専門学校等への進学率は71％と過去最高を記録している。受験者数と全大学の定員とがほぼ拮抗し、全受験者が入学できる状況（全入学時代）の中、一人ひとりの学力向上は、進学による新たな知識の習得や、先生や学生との交流による人間形成へとつながり成長を期待できる。

現在、公的な英語塾の設置を調査研究している。

田子中学校の授業の様子

議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

伝わる広報誌を目指して

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】宮村尚哉委員長　宇藤大介副委員長　砂子田康雄委員　日沢一雄委員　尾形憲男委員

協　議

○実施日　11月17日

12月7日開会の平成29年第4回定例会の議事日程について協議した。

議会広報編集委員会

○実施日　9月28日

町村議会広報研修会（東京都）に出席し、広報作成について研修を受けた。

○実施日　10月3日

議会だより第93号の内容を確認し、校正を行い、10月25日に発行した。

○実施日　11月17日

議会だより第94号の担当者、構成、スケジュールについて協議した。

清水頭小学校改修工事詳細説明を

総務・文教常任委員会

【構成委員】日沢一雄委員長　砂子田康雄副委員長　宇藤大介委員　椛本義見委員　澤口勝委員

事務事業調査

○実施日　11月6日

所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課】

田子小学校のグラウンド改修工事は予定通りに完了する。清水頭小学校改修工事は、外壁などの腐食により工事内容等の変更が必要とのこと。委員会では議員全員協議会で詳細な説明を求めた。

田子町奨学資金貸付条例の改正では、貸与額の増額、入学準備金の新設、償還期間の延長や償還免除による一部給付など改正内容の説明があった。

【総務課】

財政状況では、専決処分した補正予算と12月補正の各会計毎の概要説明があった。

消防関係では、9月に行われた第23回全国女性消防操法大会の結果について報告があった。

【政策推進課】

連携中枢都市圏事業の追加予定、当町関係では、「空き家対策のための研修会開催」や「圏域活性化支援事業」などが検討されているとのこと。

【住民課】

コミュニティバス路線の変更について、長坂線の一部を西舘野上ノ平住宅まで路線延長する。

集落センターの改修工事について、関、嘉沢、上ノ平は工期内には完了する予定。

【税務課】

本年9月末までの税の徴収実績は昨年度と比較して概ね前年並み。

ふるさと納税は10月末の寄付金額は、2274万円で1373件。

アンテナショップ事業全協での説明を要望

産業・民生常任委員会

【構成委員】尾形憲男委員長　宮村尚哉副委員長　蹴揚清人委員　沢口博二委員　欠端則夫委員

事務事業調査

○実施日　11月9日

所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所】

内視鏡カメラ等の医療機器更新事業完了。患者用トイレ改修工事は2月中に完了予定。老健たっこ臨時職員を募集中。

【健康増進課】

若年者のピロリ菌検査、中学生は全員陰性、高校生1名治療中、2名再検査。12月補正で介護保険制度改正に伴うシステム改修費を計上。新年度、町側の相談窓口を一本化検討。

【住民課】

田子保育園移転手続きは、土地の購入は完了、用地の整備工事は次年度実施。再生エネルギー関係、風力発電事業に新規に1社参入見込み。

【建設課】

町道等の工事は発注済み。災害復旧事業は12月補正にて順次対応。住宅リフォーム等支援事業は予算を追加補正。水道事業工事は発注済み。

【産業振興課】

農産物の病害虫対策、水稲は収穫量が前年を下回る。葉タバコは被害が少なかった。農業後継者対策の「農業次世代人材投資事業」に新たに3名。計14名となる。新規就農者に営農相談や実践的指導、育成を実施。

アンテナショップ事業は詳細な全体計画を再度議員全員協議会での説明を要望。「農村漁村施設整備事業」について、道の駅構想は関係団体等で検討会を立ち上げ調査研究を実施中。

【農業委員会】

農地の利用状況説明。

田子町・瑞山市「姉妹都市提携５周年記念訪問」

大韓民国瑞山市と姉妹都市となってから今年で５年目となります。それを記念し、「姉妹都市提携５周年記念訪問」と題して、１０月６日から１１日にかけ、椛本義見議員、尾形憲男議員、宮村尚哉議員の３名が、町職員、田子町にんにく国際交流協会の職員らとともに瑞山市を訪問しました。

訪問内容を尾形憲男議員、宮村尚哉議員が、訪問しての所感を椛本義見議員を含め訪問した３名の議員が報告します。

海美邑城（ヘミウプソン）祭り

瑞山市訪問2日目、瑞山市最大のイベントの祭りに参加させて頂きました。この祭りは旧盆中の毎年10月中に開催され3日間で21万人が訪れる壮大な祭りでした。

我々、訪問団も当時の民族衣装に着替え参加し当時の雰囲気を体験して来ました。

祭りの内容は、兵営城の一日、忠清兵馬節度使の出征式、朝鮮時代の運動会など歴史的な考証を経た多彩なプログラムで運営されてるとの説明。会場内は朝鮮時代後期の伝統市場、素朴で活気ある市民の生活像を再現した「伝統ナンジャン」をテーマに様々な体験プログラムがあります。

我々一行もイ・ワンソブ瑞山市長と一緒に兵隊に配る「おにぎり」の作業をしました。

また、中心のメインステージでは、「にんにくとべこ祭り」にも来て頂いた「トゥンセ芸術団」の素晴らしい演奏が行われ、盛り上がりました。演奏終了後、我々一行はステージ上に呼ばれ、紹介して頂き、田子町をアピールしてまいりました。

この祭りを体験して、これからの町の祭りに反映して行きたいと思います。

イ・ワンソブ瑞山市長と記念撮影

瑞山市農業技術センター

私たち訪問団一行は瑞山市農業技術センターを見学させて頂きました。瑞山市は全国3位の耕地面積を持っており、米の生産量は忠清南道で1位だそうです。その他の作物としてはニンニク、ショウガ、高麗人参、ノビルなどの栽培が盛んです。畜産も盛んで「韓牛」の飼育に力を注いでおられるとのことでした。

センターの主な施設としては科学営農施設として植物培養室、有機微生物培養室など色々な研究設備が整い、農業機械レンタル事業、農産物共同加工センターも見学させて頂き感激しました。韓国では国の政策指導で農業後継者、若手育成、規模拡大など進めており、かなりの設備投資されてました。日本もこれぐらいの計画、設備があればと思い、少々羨ましく感じた見学でした。

（宮村尚哉）

職員の説明を受け視察

三尊像と看月庵

瑞山の観光地2か所を紹介します。市施設見学の合間に訪れた国宝第84号「瑞山龍賢里磨崖如来三尊像」は、韓国で発見された磨崖仏の中で最も優れた百済最後の作品で、顔一杯に慈悲に満ちた微笑を讃えており、当時の百済人の温和ながらもロマンチックな気質を垣間見ることができます。太陽の光が当たる角度で微笑が変化し、光との調和によって真価が発揮されるように作った百済人の知恵が窺えます。長い間、草むらに埋もれていたが、1958年に発見され、1962年に国宝に指定。壁面は80度の角度で傾いており、雨風を正面から受けないように配慮されている点は、科学的にも評価されています。

国宝の瑞山龍賢里磨崖如来三尊像

看月庵は、浮石面看月里にある小さな島にあり、朝鮮太祖李成桂の王師であった無学大師がここで月を見て悟りを開いたことから、「看月庵」と名付けられました。干潮時は陸とつながり、満潮時には島となる神秘的な庵です。瑞山バードランドの近くにあります。看月庵では僧侶からお話を聞き甘茶をいただきました。ぜひ瑞山を訪れた際には立ち寄ってみては如何でしょうか。

（尾形憲男）

僧侶の説法を聴くことができた看月庵

瑞山市を訪問して

椛本義見議員

民族衣装を着てヘミウプソン祭りに参加しました。大変盛大なお祭りで、市長と市民が共にお祭りに参加しているのが印象的で、私たちも餅つきやおにぎり作りなどを体験し、良い思い出となると共に、市民の温かい気持ちが伝わってきました。

また、家畜市場を視察しました。牛のセリは、いたずらに高値になるのを防ぐため値段設定があるという話でした。牛を飼育し美味しい肉牛を育てるために皆様の協力でセリが行われているそうです。大変良い勉強になりました。

これからも末永く田子町とソサン市の交流が続きますように願っています。

尾形憲男議員

議会交流から姉妹都市交流になり早5年、今回も、市長（市庁）、議会の歓迎は猛烈なものがありました。海美邑城歴史体験祭りや、各種施設の訪問、毎日の夕食会、楽しむことができました。今後の在り方として個々の理解を育む取り組みができないか、民間交流の在り方を探っていきたいと感じてきました。欲を言えば専属の通訳がいれば、いや自分の努力が必要と改めて感じた訪問でした。感謝。

宮村尚哉議員

瑞山市は今、工業・農業共に、もの凄い速いテンポで発展しております。市内の人口は年を追うごとに増加しており、近年では浅水湾から船舶での中国との貿易も盛んです。市長も農畜産に力を入れ発展、拡大しようとしているのが感じとられました。

今回の訪問では議会の代表として行かさせて頂き、大変勉強になりました。また、青森空港からの韓国便が出ているので、個人的にも行って見聞を広めたいと思います。

世紀越えトンネル建設加速化 市町議会協議会活動報告

当協議会は、田子町夏坂と秋田県鹿角市大湯とを結ぶ、国道103号及び国道104号のバイパス（通称：世紀越えトンネル）の早期整備促進を図るため、田子町議会と鹿角市議会の議員により組織されています。11月2日には全体会を、13日から14日にかけて国会議員へ要望活動を行いました。その内容を要約して報告します。

全体会

11月2日、秋田県鹿角市のホテル鹿角を会場に平成29年度世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会（会長：宮野和秀鹿角市議会議長）の全体会が開催されました。当協議会は、田子町と秋田県鹿角市の議員で構成され、両市町を結ぶ国道103号及び104号のバイパス（通称：世紀越えトンネル）の早期整備促進を図るために平成26年に設置されました。

講師の酒井氏

全体会では、秋田県鹿角地域振興局の酒井不二彦建設部長を講師に、「秋田県道路行政の現状と国道104号の取り組みについて」と題して講話がありました。秋田県議会の国道104号に対する動きや、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン（案）」での扱いなどについて説明あり、その後の質疑応答では複数の議員により活発な議論が交わされました。

講話の後には宮野会長が議長を務め、平成29年度事業計画（案）及び実施状況について協議が行われました。

今年度は、全体会を開催して士気高揚をはかり、青森・秋田両県や国に対して要望活動を行う他、PR活動の充実として、イベント時の周知に用いるため桃太郎旗を作成するという内容に決まりました。今後も引き続き、世紀越えトンネル建設に向け活動をしていきます。

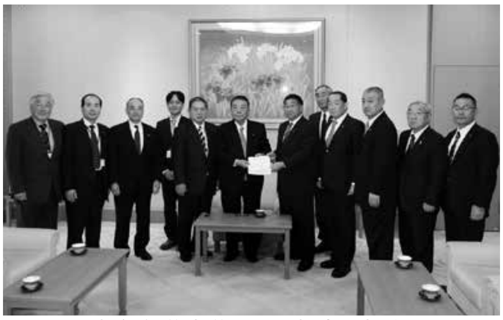
（日沢一雄）

全体会に出席した田子町と鹿角市の議員

要望活動

去る11月13日から14日にかけて、秋田県鹿角市議会の協議会議員4名と当町議会協議会4名、各市長事務局随行のもと、夏坂大湯間のバイパスルート早期建設着工にむけた陳情・要望活動を実施してまいりました。

「世紀を越えて未来への架け橋を」をテーマに、古くは木村守男前青森県知事の時代から秋田県と青森県の経済・医療・文化の交流を目的とする北東北の発展、そして我が町の地理的困難を解消し、来町者の増加、物流の円滑化（東日本大震災時、八戸、能代を結ぶ命の道としての機能十二分に果たした）等の多面的な機能、可能性を模索し、鋭意協議が重ねられてきたこのルートも、本年秋田県側に調査費が予算化され、更なる気運の高まりも醸成されつつあります。両県の代議士にルートの必要性、重要性を伝え、事業推進へ向けての知恵を授かり、国交省各部局の統治者へ嘆願し、着工への道筋を教示していただくなど、大変有意義な活動となりました。


大島衆議院議長に要望書を提出

青森県側として「みろくの滝」入口までの道路整備が完結しておることは周知の事ではありますが、議会そして両市町を挙げての建設具現化に向けた更なる取り組みの強化、住民参加型の運動の強化に真摯に取り組み、秋田県側の積極性を引き出し、必ずや近い将来にはこの夢の実現における未来予想図をお示しできると確信をしております。

（宇藤大介）

三戸郡議員研修会

発表をする三浦五戸町長

10月17日、五戸町にて三戸郡町村議会議長会主催の研修会に参加しました。今回の研修内容は五戸町長・階上町長・新郷村長との「町村政に係る施策について」意見交換会でした。

まずは各町村長のこれからの展望・施策を発表後、議員団との活発な意見交換が行われました。

私が最も興味を持ったのは五戸町の廃校校舎利活用事業についてでした。現在五戸町では少子化の影響をうけ、平成21年から26年の間に7小学校を統合しました。そこで廃校校舎の利活用として事業者の公募を行い3校舎は利活用されているとの説明でした。残り4校舎は築年数、耐震構造の問題などあり利活用出来ず撤去するそうです。

当町にも相応の廃校校舎、利用されてない建物があるので、これからの課題だと思い良い勉強になりました。

（宮村尚哉）

連携中枢都市圏の形成に係る勉強会

10月30日、南部町バーデハウスふくちにて連携中枢都市圏の形成に関する講演会に参加し勉強して来ました。この勉強会も20回目になりました。

今回は講師に、全国市議会議長会次長の栗下浩三氏を迎え「広域連携の現在と将来」として講演がありました。内容は、背景にある社会現象の変化、市町村合併の進展とその影響、自治体戦略２０４０構想研究などでした。

当町も以前から八戸圏域定住自立圏に参加しており、今年1月には八戸圏域連携中枢都市圏になりました。1市6町1村で構成され、生活機能の強化や地域の結びつき、ネットワークの強化など話し合われました。

これからまだまだ問題はあると思われますが、地域連携を強化し町を活性化して行きたいと思います。

（宮村尚哉）

栗下次長による講演

東京田子会　総会及び交流会

澤口議長による乾杯

11月23日、グランドヒル市ヶ谷で第32回東京田子会総会及び交流会が開催されました。我々議員団からは澤口議長と欠端議員と私の3名が参加させていただきました。総会では今年の夏に行われた神楽坂での田子神楽、ナニャドヤラ公演と田子中学校創立70周年記念の式典が話題となりました。

交流会では、今年の参加者は来賓を含め70名弱でしたが、参加者のみなさんは地元の郷土料理に舌鼓を打ちながら懐かしんでおられました。田子会の会員の方々には田子中学校創立70周年記念式典のために沢山の寄付も頂き、実行委員会長のお礼と感謝の気持ちをのべられました。長年離れていても地元を思う気持ちには本当に感謝してまいりました。交流会中には、田子中学校創立70周年記念式典と神楽坂公演の様子の映像をながし、おおいに盛り上がった一夜でした。

（宮村尚哉）

新年のごあいさつ

謹賀新年

田子町議会　議長
澤口　勝

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、田子町議会を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より田子町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の干支である「酉」には収穫の意味があると言われており、その意味のとおり町民のみなさまからたくさんのご意見やご要望をいただくことができました。そして今年の干支である「戌」には、作物を刃物で刈り取り、ひとまとめに締めくくるという意味があるそうです。町民のみなさんの声を議会内で話し合いひとまとめにし、町側と協議して参りたいと思います。

また、平成30年は前回の選挙から４年目となり、今の議会体制で活動する最後の年となります。ひとまとめに締めくくることを表す戌年は、改選前の集大成として相応しい年だと感じております。

今後も大きな課題となる少子高齢化や、混沌とする経済状況の中、議決機関である地方議会の果たす役割は大きいと考えております。これまでの議会運営方法だけでなく、よい慣例・慣行は残しながら、新しい考え方も含め、様々な方法を模索し、議会を活性化させ、町民が安全安心に暮らせるまち、生き生きと健やかに暮らせるまちづくりの実現に向けて、さらに町と連携を深めながら、最善の努力をしてまいる所存であります。

本年も町民みなさまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申しあげまして、新年のあいさつといたします。

編集後記

第94号発行にあたり広報の紙面づくりを今後協議、検討しなければいけないと感じています。各種議会活動の報告、定例会の内容、議案審議結果等は、わかりやすいよう工夫したいです。一般質問の項ですが、自分の質問を自身が担当しています。紙面の公平性、公共性を考えた場合適当であるのか、現在は煩雑だということで本人が担当しているが改めてみてもいいのではないかと感じている。継続は力、伝わる広報を目指して。

尾形憲男

発行・編集責任者
議　長　澤口　勝

議会広報編集委員会（第94号）
委員長　宮村　尚哉
副委員長　宇藤　大介
委　員　砂子田康雄
日沢　一雄
尾形　憲男

執筆協力
椛本　義見
沢口　博二
欠端　則夫

■発行／田子町議会　青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平８１　TEL 0179-20-7121 FAX 0179-32-4294
■編集／田子町議会広報編集委員会 ■メールアドレス takko0601a@town.takko.lg.jp【印刷】有限会社赤坂コピーライツジム